

アルファ・ワイン 企業調査レポート

アグロ カネショウ (4955 東証一部)

発行日：2019/5/21

アルファ・ワイン 調査部

<http://www.awincap.jp/>

● 要旨

◆ 2019年12月期第1四半期決算

- ・アグロ カネショウ（以下、同社）の2019/12期第1四半期（以下、1Q）の決算は、売上高が前年同期比14.9%減の4,130百万円、営業利益は同37.3%減の619百万円、経常利益は同30.6%減の660百万円、純利益は同28.6%減の482百万円であった。
- ・減収要因を製品の種類別売上高からみると、売上構成比トップの土壌消毒剤の落ち込みが厳しく、減収寄与度は88%に達している。営業減益率が減収率を大幅に上回った理由は、のれんの償却負担増と研究開発費の増加により販売費及び一般管理費（販管費）が前年同期比16.2%増加し、売上高販管費比率が27.9%と同7.4%ポイント上昇したためである。結果、売上高営業利益率は15.0%と同5.4%ポイント低下した。なお、売上高総利益率は42.9%と前年同期比2.1%ポイント向上している。

◆ 2019年12月期第1四半期の製品種類別概況等

- ・2019/12期1Qの製品の種類別売上高動向は以下の通りである。
- ・害虫防除剤は1,078百万円（前年同期比4.7%減）。2018年12月に営業権を取得したダーズパンの貢献があったものの、準主力薬剤であるダニ剤カネマイトフロアブルの海外向け減収が大きかった。
- ・病害防除剤は454百万円（前年同期比2.3%増）。前年同期に減収であったキノンドー剤が盛り返したことで、全体としては増収を確保した。
- ・土壌消毒剤は1,521百万円（前年同期比29.5%減）。主力薬剤であるバスアミド、D-Dとも国内外で減収、ネマキック粒剤は海外向けこそは堅調であったものの国内向けが減収した。
- ・除草剤等は651百万円（前年同期比5.9%減）。除草剤カソロン粒剤の減収が影響した。
- ・その他は423百万円（前年同期比0.6%減）。家庭園芸関連、植物成長調整剤、展着剤ともほぼ前年同期並みであった。

◆ 業績予想に対する進捗率の状況

- ・今期2Q累計業績の会社予想に対する1Qの進捗率は、売上高46.8%、営業利益48.3%と、前年同期の2Q累計業績に対する1Qの進捗率（売上高56.5%、営業利益68.2%）に比べると大きく出遅れている。第2四半期以降の売上高は、土壌消毒剤を中心とする国内売上高が堅調に推移する見通しだが、1Q売上高が年間で最も大きくなる同社業績の季節性を勘案すると、今期2Q累計業績の会社予想を達成することは難しい状況である。
- ・特に、全社売上高の56.5%（2018/12期）を占める土壌消毒剤が、1Qにおいて前年同期比29.5%減と大きく落ち込んだことが全体として想定以上の減収に繋がった。昨年の天災による一部地域での作付面積減少や一部販売チャネルでの流通在庫調整等は会社計画にある程度織り込まれていたものの、一部農産物の市況下落等による土壌消毒剤需要の低迷は想定外だったようだ。
- ・会社側は、第2四半期以降の国内の土壌消毒剤売上高が、バスアミドの生産回復、ネマキック粒剤の復調期待等から堅調に推移する見通しを持っており、会社計画の業績予想は据え置かれた。
- ・アルファ・ワイン調査部（以下、当調査部）も、土壌消毒剤の国内売上高が第2四半期以降回復するを見込み、現段階では今期業績予想を修正しない。

ショートレポート

1/3

アルファ・ワイン企業調査レポート（以下、本レポート）は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ワイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が企業内容の説明を目的に作成したもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

【 4955 アグロ カネショウ 業種:化学 】 図表 A

決算期		売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2017/12	通期	14,587	1.9	2,096	1.6	2,094	-0.4	1,922	49.5	152.11	1,406.75	22.0
2018/12	通期	15,411	5.6	2,157	2.9	2,161	3.2	1,301	-32.3	102.99	1,451.23	22.0
2019/12	通期CE	15,881	3.0	1,660	-23.1	1,662	-23.1	975	-25.1	77.10	-	22.0
2019/12	通期E	16,000	3.8	1,700	-21.2	1,702	-21.3	980	-24.7	77.35	1,502.74	22.0
2018/12	1Q	4,854	2.4	988	-13.7	952	-15.4	675	-4.0	53.42	-	-
2018/12	2Q	8,594	5.6	1,448	13.1	1,440	12.8	969	-35.7	76.69	-	10.0
2019/12	1Q	4,130	-14.9	619	-37.3	660	-30.6	482	-28.6	38.16	-	-
2019/12	2QCE	8,829	2.7	1,281	-11.5	1,281	-11.1	775	-20.0	61.29	-	10.0

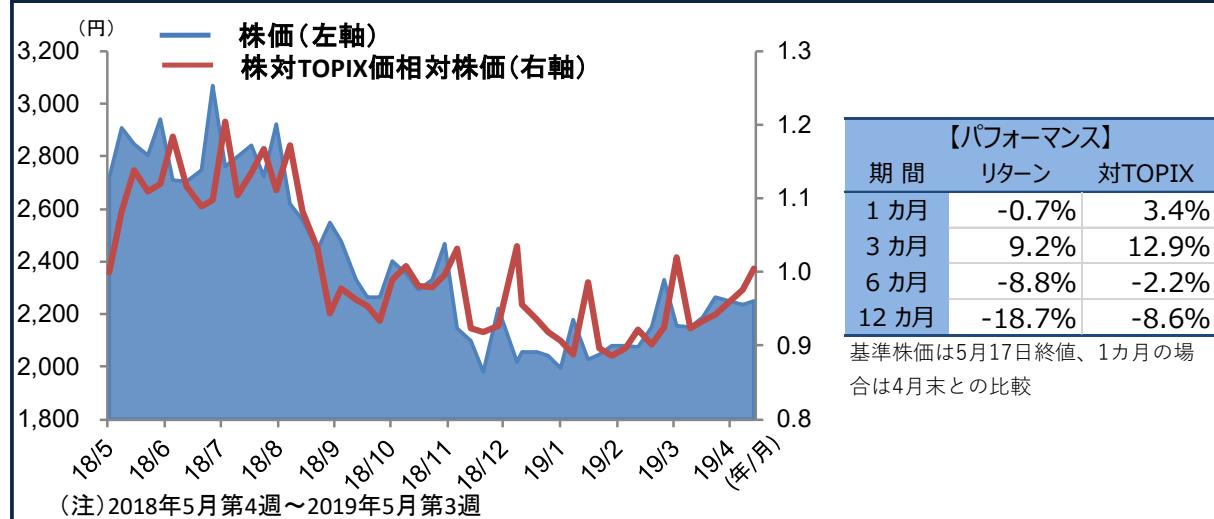
(注)CE:会社予想、E:アルファ・ワイン調査部予想、2Qは累計会計期間

【 株価・バリュエーション指標 : 4955 アグロ カネショウ 】 図表 B

項目	2019/5/17	項目	PER(倍)	PBR(倍)	配当利回り	配当性向
株価(円)	2,250	前期実績	21.8	1.6	1.0%	21.4%
発行済株式数(千株)	13,404	本期予想	29.1	1.5	1.0%	28.4%
時価総額(百万円)	30,161	来期予想	24.8	1.4	1.0%	24.2%
潜在株式数(千株)	0	前期末自己資本比率	60.3%	前期ROE	7.2%	

(注)予想はアルファ・ワイン調査部予想

【 株価チャート(週末値) 4955 アグロ カネショウ 】 図表 C



ディスクレーマー

アルファ・ワイン企業調査レポート（以下、本レポート）は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ワイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

本レポートは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本レポートの内容は、一般に入手可能な公開情報や事実に基づき、アナリストの取材等を経て分析し、客観性・中立性を重視した上で作成されたものです。また、会社による予想及び判断と、弊社による予想及び判断を区分し、記載するように努めております。

本レポートに掲載された内容は、作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を弊社は負わないものとします。

本レポートの著作権は、弊社に帰属し許可なく、複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。弊社、及び本レポートの作成者等の従事者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本レポートについてのお問い合わせは、電子メール【info@awincap.com】にてお願いいたします。但し、お問い合わせに対し、弊社、及び本レポート作成者は、返信等の連絡をする義務は負いません。